

小須戸公民館報

町館信 戸民常 須公田 小中成 小須戸 須公田 須公田 須公田
 発行所 小中成 須公田 須公田 須公田
 発行人 須公田 須公田 須公田 須公田
 発行日 須公田 須公田 須公田 須公田
 印刷所 須公田 須公田 須公田 須公田

食生活を見直そう

～健康維持は食事が基本です～



今日の日本は、食生活の変化などに伴い、世界に例をみない高齢化社会をむかえています。その反面、健康な人が思ったより少なく、病人やその一歩手前の健康の人が増加の傾向をたどっているといわれています。

現在のわが国の食生活をみると、平均的には栄養状態は良好なものとなつていますが、個々の世帯、個々の人についてみた場合、食生活を取りまく環境の急速な変化に伴い、次のような問題が生じています。

- ◆食事の洋風化に伴い、脂肪の摂取量は増加傾向にあり、適正量の上限に近づいています。
- ◆交通機関の発達、職場の機械化、家事の省力化などによって消費エネルギーが減少しているにもかかわらず、相対的にエネルギーを過剰に摂取しています。



加工食品の依存度が高いことにより、栄養のバランスに偏りのある人が増えています。一人ですべての子供が増えるなど、食事を中心にした家族の円らな生活が失われつつあります。

食事は、心と体を養うもので、健康な体をつくるのもこの食事です。毎日の食事が基本です。その健康と食生活の関係を再認識した上で、もう一度我が家の食生活を見直してみようか。

このような状況の中で厚生省は、「健康づくりのための食生活指針」を示しました。

これは、わが国が健康先進国としての位置を確実に保つていくために、一人一人が食生活を見直し、成人病の発病につながる要因をとり除き、食習慣のゆがみを正して、今の時代に求められる望ましい食生活を形成したいという願いがこめられています。

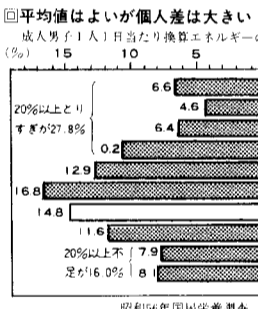
特集

学校・幼稚園紹介
 二面 小須戸中学校
 三面 小須戸幼稚園
 尚、来月は四百号記念特集号です。



健康づくりのための食生活指針

- ①多様な食品で栄養バランスをとり、一日30食品を目標に。
- ②主食、主菜、副菜をそろえて、日常の生活活動に見合ったエネルギーを。
- ③食をすすむに気をつけて、肥満を予防。
- ④よく体を動かし食事内容にゆがみを正して、成人病の発病につながる要因をとり除き、食習慣のゆがみを正して、今の時代に求められる望ましい食生活を形成したいという願いがこめられています。



自分の健康は自分でつくるものです。毎日の暮らしの中で、もう一度食生活を見直し、すこやかで、幸せな生活を築き上げましょう。

(財団法人日本食生活協会の資料を一部引用)

手作り木槌でゲートボール

ゲートボールは昭和二十二年鈴木栄治さんがクローケー(木槌でボールを打ちゲートを通すゲーム)からヒントを得て考案され、昭和五十二年頃から高齢者を中心に急激に普及した。現在、全国で愛好者は六百万人余り、当市においても百二十名以上の方が愛好している。その中でも自分で作りが、須藤徳三郎さん(矢代田七、六十一才)である。

ゲートボールを始めたのは老人クラブに入ってからなんども

ふんせんと散歩 (11)

須藤徳三郎さん

どうせなら自分で作った木槌でやってみようと思った。手作り木槌を見せたら、手作りとはいえない程立派なもの。『本当はカキの木で作るんらもサクラの木で作った。玉の当りが軟らかくて俺にはちょうどいいね。』

他にも輪投げセットも手作りで作られたそう。苦労した事は、「専門の道具がねえすけね、ノコギリやカンナで作ったんだけど筒の丸みが出てくね。まあ納得のいく物は出来たんですけど、雪どけが待ちどおしいですね。」

活力ある地域作りをめざして

地域課題をさぐる

去る二月二十一日(日)横川浜集落センターに於て、横水分館壮年部の活動の一環として地域課題の解決の糸口をさぐるというテーマで、懇話会が開かれました。

当日は、分館婦人部、実行組合の協力を得て参加者も六十五名と会場がいっぱいになるほど盛況でした。

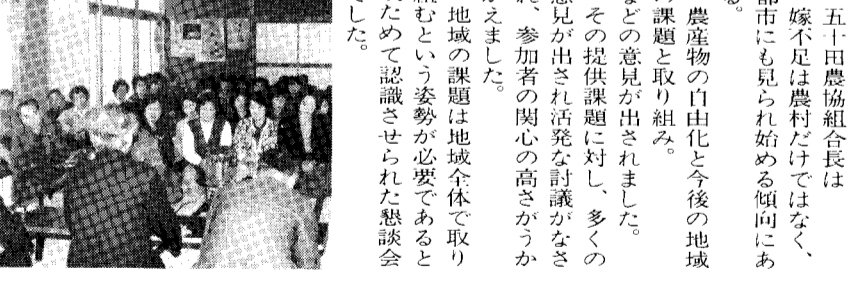
映画「春を待つ瀬戸の小島」を鑑賞、その後、地域課題の提案者として椿教育長、成田中央公民館長、五十田農協組合長がそれぞれ意見を出されました。

椿教育長は

- ・自己中心的な単線思考を排す。
- ・地域の中の横のつながりを大切に。
- ・あいさつ運動「心をひらく」の心を教育を。
- ・とくに若い父母に望む。(老人・先輩の働きかけ、指導を期待する。

成田公民館長は

- ・公民館駐車場の野菜売りの



「そうらね。はよ雪がとけてくねかな。うずうずするんさ。」ゲートボールは健康と仲間づくりに最適なのだそう。

「奥の深いスポーツだし、頭も使っんで老化防止にもいいねえ。」これからも楽しみながら作って楽しく活動していきたいとのこと。晩酌でほんのり赤い顔に熱っぽい口調と笑顔が交錯する。

- 去る二月七日、町民体育館で六十余名が参加して開催されました。結果は次のとおり。
- 〈一般の部〉
- 優勝 小山高美(新潟市)
 - 二位 伊藤 尚(中央町一)
 - 三位 佐藤 豊(新潟市)
 - 四位 木村昌彦(矢代田二)
 - 五位 山田岳史(加茂市)
 - 六位 本望 学(新保三)
 - 七位 久保田博(新潟市)
 - 八位 野崎 茂(矢代田十)
- 〈中学生男子の部〉
- 優勝 田巻雄介(文京町一)
 - 二位 相田雅之(横川浜)
 - 三位 中野 忍(文京町)
 - 四位 坂井和宏(矢代田七)
 - 五位 壺屋敦史(矢代田二)
 - 六位 川村和幸(大川前二)
 - 七位 井上真佐樹(新保一)
 - 八位 佐藤 修(矢代田四)
- 〈中学生女子の部〉
- 優勝 保科美枝子(矢代田七)
 - 二位 森田清美(新築町一)
 - 三位 青木寿子(大川前一)
 - 四位 田中さおり(戸石)
 - 五位 高野純子(矢代田)
 - 六位 石本真由美(新保二)
 - 七位 古川抄織(小 向)
 - 八位 村山栄子(矢代田七)

孔版画家 高橋喜代治氏の遺作を鑑賞

美術愛好会は総会と合わせ、去る二月二十八日、孔版画家高橋喜代治氏、江戸時代から明治にかけて活躍し、小須戸に没したとされる画家、春暉の遺作などを公民館に展示し、鑑賞会を開催した。展覧にちなんで展覧の絵書、彫刻なども出品された。出品総数六十三点。一般鑑賞者も数多く来場し、会場は盛況でした。次回もすばらしい作品に逢える事を期待いたします。

小山高美(新潟市) 組優勝
 伊藤 尚(中央町一) 組優勝
 伊藤 尚(中央町一) 組優勝

「江戸時代越後農民の旅日記」

二年がかりで解説

古文書を読む会、百七十年前の文献を解説し刊行する

昭和五十九年より三年間、中央公民館主催、成人大学講座古文書を読む会では、二年がかりで解説した成果をこのたび「江戸時代越後農民の旅日記」として刊行するに至りました。

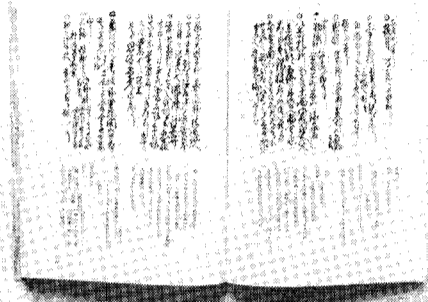
古文書の会は講師に元新津南高校校長滝沢定春先生をお迎えし、昭和五十九年一月、会員二十名で発足しました。以来、古文書を読む学習を続け、翌年より二年間鎌倉の小柳浩平さん宅に保管していただいた旅日記を解説して来ました。

小柳さんも古文書の会の一員として参加され、本にまとめるに当たってのきっかけを「旅日記」としては、当時の様子が大変細かく書かれており、活字に残した方がよいのでは、との話で、私達の勉強の結果としてまとめてみました。

と話され、古文書の会では、去る

編集は各ページ上段に史料、下段に対応する解説文が載せられていて、古文書解説の学習書としても活用できるようになっています。

六日に講師滝沢先生を囲んでの旅日記発刊記念会を開催しました。会員の一人は感想を、「古文書の勉強ができてよかったし、古文書の勉強ができてよかった」



江戸時代越後農民の旅日記

催しものご案内

みんなで気軽に楽しく参加しよう

16mm映画ビデオ視聴室

どなたでもお気軽にどうぞ
日時 四月二十日(水)午後七時三十分より九時まで
会場 中央公民館三階視聴覚室
内容 茶器(青磁。光悦)

歌謡バラエティショー

楽しいひとときをみなさんと
日時 四月十七日(日)午後一時開演
会場 中央公民館三階ホール
主催 小須戸町民謡保存会
後援 小須戸町民謡連盟

民謡発表会

お誘い合わせの上ご来場下さい
日時 三月二十日(日)午後一時開演
会場 中央公民館三階ホール
主催 小須戸町民謡保存会
後援 小須戸町民謡連盟

クラブ(K・R・C)

スポーツ少年団員集まれ
小須戸町スポーツ少年団
大会開催のお知らせ
今年もみんなで楽しく汗をかこう。
期日 三月二十日(日)
集合時間 午前九時三十分
集合場所 小須戸小学校体育館
種目 綱引き、縄飛び、ビーチバレーボール、その他楽しい競技がいっぱい。
尚、不明な点がありましたら教育委員会(TEL 三八一三一)に連絡願います。

団名	性別		小計
	男子	女子	
小須戸剣道スポーツ少年団	30	12	42
矢代田剣道スポーツ少年団	37	16	53
小須戸町柔道スポーツ少年団	2	0	2
小須戸サッカースポーツ少年団	43	0	43
小須戸町野活動太陽の子スポーツ少年団	31	48	79
矢代田野球スポーツ少年団	18	0	18
小須戸野球スポーツ少年団	13	0	13
こすどバレーボールスポーツ少年団	1	17	18
合計	175	93	268

(但し中学生は含まない) 3月1日現在

昭和63年度小須戸町スポーツ少年団入団状況

みんなで力を合わせてひとつの仕事をやりたい事は非常にうれしいです。満足しています。これからも機会あるごとに古文書を読んでいきたいですね」と話してくれました。

「江戸時代越後農民旅日記」を購入希望の方は中央公民館(TEL 三八一三三)四番へどうぞ。一冊二千五百円、三百二十二ページ、限定二百部



町民スキー教室四十二名が参加

滑って転んで楽しい二日間

去る2月6・7日両日、五日町スキー場で町民スキー教室が開催されました。

参加者42名が各々の班に分かれて体育指導委員の実技指導のもと、それぞれに腕前をあげ(中にはそうでない人も)、怪我もなく無事終了することができました。

来年度はもっと沢山の参加者を期待します。



図書だより

一般図書

- 白夜(全四巻) 渡辺淳一
- 死闘川中島 木屋進
- 殺人列車への招待 西村京太郎
- 三毛猫ホームズの登山列車 赤川次郎
- 二下番斬り 池波正太郎

- 四季・波留子 五木寛之
- とれたての短歌です 俵 万智
- ノルウェイの森(上下) 村上春樹
- 恋のグルマン キャサリン・ケイ
- 倫子、二十歳の旅立ち 米田倫子
- 華やぐとき 荒木好子
- 一休を歩く 水上勉
- 他二十七冊

クラブ員募集

申し込みは中央公民館へ

健康体操さわやかクラブ

健康体操やレクリエーションダンスで楽しく汗を流してみませんか。
日時 毎週月曜日午後七時三十分より九時三十分まで
会場 中央公民館三階ホール
会費 年費二千元

民謡保存会

健康と美容と仲間作りに踊りをしてみませんか。初心者の方もぜひどうぞ。
日時 毎週金曜日午後七時三十分から九時三十分まで
会場 中央公民館三階ホール
会費 月額千五百円

洋画クラブ

初心者入門講座
初心者の方を対象とした講座を開催します。ぜひどうぞ。
日時 毎月第二火曜日午後七時三十分から九時三十分

レクダンスあじさい

歌にあわせて楽しく体を動かしましょう。
日時 毎週金曜日午前十時から十二時まで
会場 中央公民館三階ホール
内容 レクリエーションダンス

川柳教室作品

題「本気」

冗談が本気になった縁結び
本気と云う話しの割に当てならず
例えが本気にされて伝えられ
冗談がだんだん本気になってくる
本気なら命いくつも要るドラマ
叩く手が本気抜いてる愛の鞭
仲人は誠しやかにほめたたえ
本気だよ指切りをして別れ道
かつがれているとも知らず本気だし
本気かぬ貫った品に念をおす
あの人を本気にさせる術もかけ
そろばんを持って上手に本音はく
冗談が何時か本気でもめてくる
遠慮に目入れたら本気抜けてくる
ドラマでも本気で演れば味が有る
足元に火が点いてから出す本気

- 清作 源吾
- 武雄 常信
- 米二 米二
- ただし 良平
- キヨノ 良平
- タネ 春江
- キヨ 春江
- 幸世 幸世
- 信子 信子
- 志枝 志枝
- みな 志枝

短歌クラブ作品

本枯しに耐えて咲きいる一群れの黄菊曲がり
て地に這うがごと
夕食の仕度忙しく受話器より流るる孫の声に
和めり
生きているあわびより受くる歯応えは磯の味
覚の王者というか
幾度も椿の雪を払い、ふくらむ赤き雷鳴か
む
卒業の季節となりて胸にある恩師の言葉ふと
口ずさむ
冬の陽を水面に受けて信濃川砂利採集の船を
浮べり

- 大森美恵子
- 鈴木 ハナ
- 吉田 久次
- 野保 好雪
- 高野 初江
- 村山 浩子

二月例会作品

小須戸町俳句同好会

降り止みし小雪に山茶花こぼれつぐ
乗る人のみな着ぶくれて送迎車(通院)
参道の割間つき目に下萌ゆる
退院の安らぎにあり冬の風
支柱して豪農館冬構
雪のせて樺の形の素直かな
降る雪を鏡に見つづ理髪店
冬の池鯉のあやなす一所
先まわりして薄氷を踏みしだく
暖冬や雪なき不安山を見る
書初めしはらけ筆を遊ばせて
煮凝りや猫に見られしつまみ食い
からからと風ある日和冬菜売
春炬燵内緒が洩れる糸電話
色褪せし捨て越一つ下萌える

- 松山 久子
- 香月 富沙子
- 木浪 素系
- 露春 野蒜
- 美根子 津津
- 可津朋 良遊
- 虚秋 越楼
- 秀穂 加藤
- 茂

短歌

雪解けの露やはらかに流れゆく臘梅匂ふ畑中
の道
先達の遺しを知らず如月の月余過ぎたる寒
夜に訪いぬ
母びとの膝にのせてはそれぞれに言葉添えつ
つ難を納めり

- 我妻清作
- 伊藤照溪
- 加藤 茂

生徒が主役

小須戸中学校長 長井 昭三



40年の伝統に支えられて

学校・家庭・地域が一体となつて

小須戸中学校PTA

子供達にとって、家庭・地域は信頼の絆に結ばれ、お互いに構成員の一人としても支えられている大切な場所であるはず。その果たすべき役割は何かでしょうか。

この家庭・地域において、今一番必要なことは、子供達に正しい生活習慣を身につけさせることではないでしょうか。中でも、気持ちの良い挨拶や正しい交通マナーは、最も基本的なものです。

そのために、まず、親や近所の人々が手本を示し、朝・晩・通学時間等を利用して「おはよう」「車を通して子供のことを少しづつ理解でき、本当の対話が生まれるものと思ひます。

小須戸町のPTAでは、これを「愛の一声運動」と名づけ、町全体で推進していくことになりました。

教育やしつけは、目に見えない空気によるところがきわめて大きいと言われます。学校・家庭・地域が一体となつて、「愛の一声運動」が一層確かなものに育つことを願っています。

十月二十日、給食時の全校放送で「きよは遅刻者がでました」とアナウンスされた瞬間、各教室から大きな嘆息が洩れました。

本年度の生徒会は「○まじりを守り、正しい服装にしよう ○遅刻をしない、させない ようにしよう ○ベル席を守り、忘れ物をしないようにしよう」の到達目標を掲げ実践活動に入りました。中でも風紀委員会が中心となり、まず遅刻者の運動に取り組みました。全校生徒への呼びかけや、放送での遅刻者氏名発表などが効果をあげ、徐々に遅刻者が減ってきました。

二期期には遅刻者の日が続くようになり、全校生徒も毎日放送への関心が高まりました。「きよは遅刻者はいません」でした。これで遅刻者の日が二十日間続いています。明日もがんばりましょう」のアナウンスで、全員の記録挑戦へのムード

創立四十周年を機によい校風を築きたいと、記念式典の中で披露した生徒代表の決意が芽をふき始めたようです。

学校は生徒が主役です。それには生徒に対し、主役としての場や機会をできるだけ与え、主役としての自覚を高めることが大切と考えております。

やり遂げた仕事

三年 丸山 泉

今年、小須戸中学生徒会は、ボランティア活動として、使用済み切手の収集を行いました。先方も生徒の私達も、初めての取り組みでした。そして、私達が初めてだということである気もありました。小須戸中全体がやる気に満ちていました。その結果、二万数千枚の切手が集まり、社会の福祉に役立てることができました。

また、他にも、主要な活動として、生徒会到達目標達成運動



熱く燃えた運動会

教育目標 知性・創造 自主・協同

活発だった部活動

三年 村山 正道

僕は中学校に入学してから引退するまでの二年間半近く一生懸命練習し、たくさんの試合をしてきました。

練習面では放課後は勿論、休みの日も朝から夕方まで練習をし、朝練習ではみんなより早く来て、ねむい目をこすりながら頑張っていました。

試合ではその日その日まで積み重ねた練習のベストを尽くし、結果はともかく、一試合一試合のことをあとで思い出し、良か

一年生からの脱皮を

一年 村山 邦雄

僕は、この一年間、小学校とはちがった中学生の生活を送ってきました。しかし、二年生からの二年間は、学校の歴史を作っていくかなければならないのです。

一年生というのは、入学したばかりだし、まだ、行動力も体力もおとっています。でも、二年生となると、勉強もむずかしくなり、体力など何から何まで、一年生とはちがいます。

僕がこのまま二年生になったら、呼び方は二年生だけれど、中身は一年生だと思います。いくら、名前だけ二年生でも、中身が一年生ではいけません。外も中も二年生になりきるには、強い心とやさしい心が必要です。強い心で自分に勝ち、やさしい心で人をいたわる。この二つの心を大きくさせ、進級したいです。

中堅から学校の顔に

二年 久保 昌史

長いようで短かった二年ももうすぐ終り、今年からは、全校を引っばって行く立場になります。三年生になったらぼくはみんなをまとめていくか不安です。けれども先輩方がやってきたのだからぼくたちもできるはずだと思ひます。それには、みんなが協力してやらないかと思ひます。みんなが協力しないでは一人にまかせればなりません。うまくまわりません。小須戸中学校は運動会のみならず、とても団結力が強いので、協力してやっているとと思ひます。

一人一人が上級生になるという自覚を持ちたいものです。そして、小須戸中学校の顔として、小須戸中学校をよりよくするために精一杯頑張りたいと思ひます。

進路に向けて

三年 風間 厚子

進路決定までいろいろ考えた。「高校に入ればいい、どこだっていい。なんて考えてはダメだ。普通科・工業科・商業科など、どこにするかによって将来どういう道に進むのかが一通り決まってくる。みんな慎重に検討しよく考えて、進路決定にあつたと思ひます。進路決定後、みんなだんだんと、授業を一段と真剣に受けるようになった。

そして今、さけては通れない、受験という難関を目の前にしている。不安や緊張、やるしかないんだという気持ちが入り交じっている。みんな同じ気持ちだと思ひます。最後に全力を尽くし、「やるだけのことやっただんだ」と思ひ受検に臨もうと思ひます。全員が希望する所に合格し、笑顔で会いたいものです。



タスキに団結をこめた 駅伝大会

気になること

保健室から

養護教諭

平山 千代子

日頃、頭痛や腹痛など体の不調を訴えて保健室を訪れる生徒をみると、朝食を食べない生徒や、少ししか食べられない生徒が多いのが目につきます。その理由としては、「時間が無い」「食欲がない」というのがほとんどで、夜ふかし・朝食坊の生活が影響していることがうかがえます。

また、朝食を食べたと答えた生徒でも、その内容を聞いてみると、「パンとコーヒーだけでおかすはなし」というのが以外に多いのに驚きます。

成長期にある中学生にとって、朝食はその日一日学習するための基礎体力を作ったり、体調を整えるばかりでなく、大人への体づくりという大切な役割があります。

このような意味からも栄養のバランスを考えた朝食をきちんと食べてほしいと思ひます。そのためには、まず、早寝・早起きという規則的な生活を心がけてもらいたいものです。



古都の心にふれた修学旅行

こども 園児の育ちを見つめて



小須戸幼稚園長 関根 勝哉
(小須戸小学校校長兼務)



幼稚園正面玄関

(一) 子どもの発達とは真似ることから。

狭も含めて子供が学ぶという事は、身近な人達の行動や行為を真似る事から始まります。大人が教える・覚えさせるというよりは、子供は自分から真似て自然に様々な事を覚えていくのです。集団教育の場であれば当然、下級生は上級生を見て、三歳の子供は五歳の子供の遊びを見て、生活の仕方を学習します。小須戸幼稚園は一年限りで真似るモデルがいまません。せめて二年間あればと惜しみます。新しく一年生として入学してくる子供を見ると二年間のみの幼稚園生活を伺い知ることが出来ます。一見粗雑にさえ見える程元気がよく、競争意識が強いのは、驚きました。反面、自己中心で子供なりに相手に思いやる気持は、真似て学ぶ機会が少ないせいか育っていないように思いました。

(二) 家庭教育は、子育ての基本です。

子供が集団生活をする時間は、一日四時間が適当と言われています。必要以上の長時間保育は、教育的な立場から見れば決して良い面ばかりとは言えません。幼い子供は、家庭の中で家族の愛情を基盤に自立のための躰や生活の仕方を学びます。最近、特に家庭での教育が重要視されてきました。例えば箸の持ち方、家族間で挨拶を交す。お年寄りをいたわる等これからの世の中に適応するための心を育てることは、第一に幼稚園ではなく家庭にあるのです。

(三) 幼稚園教育で育つもの、幼稚園での学習はすべて「遊び」の形で行なわれます。

子供の好きな遊びで「○○○○」が「あやとり」です。例えば「家ごっこ」「おまつりごっこ」「買い物ごっこ」などは、大人の生活を真似て体験するのです。このような遊びの中に「体・知・情・意」という教育の基本的な事がらが子供の発達に合わせて総合的な形で組み込まれます。また、幼児期は感性の時代とも言われます。様々な事に興味を持ち、美しいものに感動し、不思議なものに驚き、好奇心を持ち、何でもやってみよう、知りたいという気持の高まりが「意欲」となるのです。この子供の「やる気」が小学校教育の中で必ず生かされるはずなのです。

(四) 家庭の教育力を高めるために。

幼稚園には、二葉会という名称の子供の教育には協力を惜まないPTA組織があります。この活動を通して、子育ての方向をさぐり、子供と一緒に体験を通して学習をしています。一年間という限られた期間でも家庭の教育力をより強力に高めることができるPTA活動を工夫していきたいものです。

幼稚園では今

昭和四十七年創立以来十五年がたちました。人の一生を木に例えるならば、幼児期は根つきの部分。子供たちは、大樹の根のように縦横無尽にしっかりと伸びているのでしょうか。幼稚園でのさまざまな子供たちの姿を追ってみました。



こままわし

★折り紙

目で見、頭で考えて、指先を動かして一枚の紙を立体化していく創造的な遊びです。

★こままわし

ひもの巻き方と投げるテクニック。こまが、生き物のようにはまわる不思議さを体験します。

★あやとり

手の指を動かす事により、様々に変っていく形の面白さを味わいます。

大好き!! 昔のあそび

昔から伝統的に行なわれていた遊び、幼稚園でも男女を問わず、夢中になって遊んでいます。その中の主なものとしては、「折り紙」「こままわし」「あやとり」などがあります。これらは、大人の誰もが経験した事のある遊びで、今の子供にとっても大切な要素をもった遊びです。昔からの伝承遊びは、いづれもその年齢にふさわしい手と目と頭の労働です。ちよっとした大人のアドバイスで子供たちの手と頭を大いに刺激して発達を促したいものです。



亀もうさぎも みんな友だち

幼稚園にはうさぎが三羽、インコが二羽、それに冬眠中の亀が十一匹います。幼稚園に入園するとみんなすぐに動物たちと仲よしになります。亀は、給食の残りのジャガイモや肉などが大好物です。うさぎは、級ごとに当番となり子供たちが家から野菜くずなどを持って来ます。時々給食センターからのプレゼントで新鮮なキャベツの外葉が届いたりもします。おかげで生まれて一年のうさぎも丸々と太って毛並もツヤツヤとしています。昨年、新津の幼稚園などへももらわれていきました。うさぎ小屋の掃除も「まるいうんちがパラパラだ。」「おしっこひっかけられた。」「おしっこながら子供たちは一生懸命に世話をします。友達と話をすると話しかけたり、なでたり、

おじいさん おばあさん を訪ねて

昨年九月敬老の日に因んで幼稚園児が老人福祉センターを訪ねてお年寄りの方々と楽しいひとときを過ごしました。子供たちは、「あのおじいちゃん、知ってるよ。」「わたしのおばあちゃんがいる。」と言いがちです。



ら、一緒に踊ったり大正琴の演奏を聞かせていただいたりしました。十月には、老人クラブの会合で、おじいさんとおばあさんに教わりながら、大きなお餅を掘りあてた時の子供たちの姿は、とても生き生きとして、嬉しさを体いっぱい表現していました。

お正月を目前にした十二月、PTAの方々の協力で餅つきをしました。臼の中の餅米の暖かな湯気・威勢のいいきねの音、独特な雰囲気をもつ餅つき会は、子供たちの歓声の中にぎやかに進行されました。揚ぎ上がった餅は、日頃お世話になっている方々をお招きして感謝の気持ちを表わし、たのしく食しました。また、交通安全や、避難訓練などでお世話になった警察署や消防署など訪問

「お世話になった方を迎えて」もちつき会

お正月を目前にした十二月、PTAの方々の協力で餅つきをしました。臼の中の餅米の暖かな湯気・威勢のいいきねの音、独特な雰囲気をもつ餅つき会は、子供たちの歓声の中にぎやかに進行されました。揚ぎ上がった餅は、日頃お世話になっている方々をお招きして感謝の気持ちを表わし、たのしく食しました。また、交通安全や、避難訓練などでお世話になった警察署や消防署など訪問



抱いたりしています。春を待つ、さつまいもやお花も植えて、草とり・水くれなど頑張ってお世話をしています。四月に入園してくる後輩たちは冬眠から目覚めた亀にびっくりしたり、かわいいチューリップの花開くのを楽しみに待っています。でもせっかくなので咲いた花が翌日ちぎられて捨てられたり、球根ごと踏みつけられたりして、子供たちが悲しい思いをした事も何度かありました。幼稚園に遊びに来るみなさん、「やさしい心」で生き物や花と友達になってください。